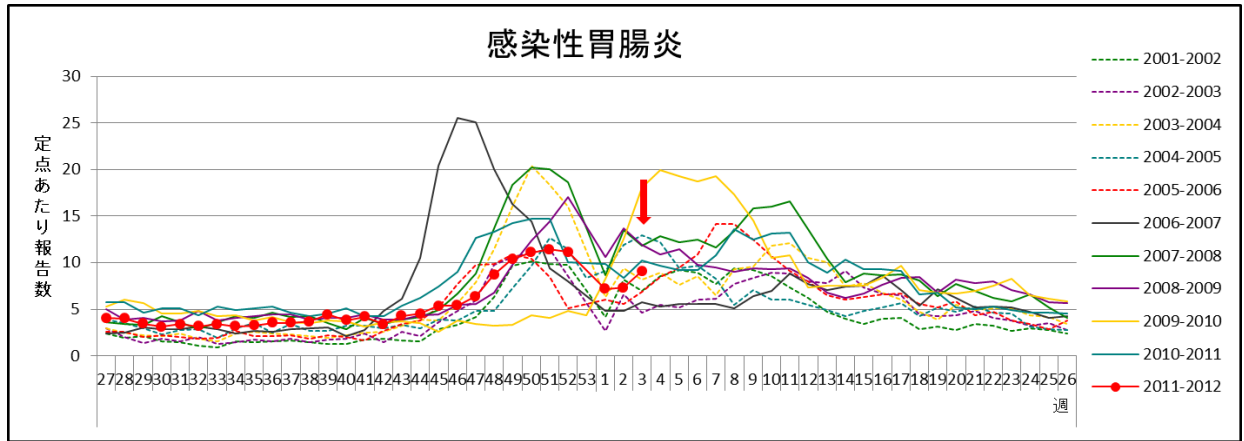


感染性胃腸炎情報 第3週 2012年1月16日～1月22日

- 岡山県内の患者報告数は 491 名（定点あたり 9.09 人）で、前週より増加しました。
- 県内ほぼ全域で、患者が増加しました。



※感染性胃腸炎は、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、前年 27 週～今年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

感染性胃腸炎の定点あたり患者数は、前週より増加しました（54 定点医療機関 定点あたり 7.33 → 9.09 人）。備北地域（10.50 → 11.75 人）、備前地域（6.00 → 11.10 人）、真庭地域（7.00 → 9.50 人）で患者が多くなりました。患者の年齢分布は 0-4 歳の低年齢層が約半数を占めていますが、20 歳以上の成人も増加しました。

小さなお子さんや高齢者の方は、嘔吐や下痢により脱水症を起こすこともありますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診してください。

冬の集団発生事例の原因はノロウイルスによるものが多いと言われています。岡山県では、今シーズンは現在までノロウイルスによる大規模な食中毒の発生はありませんが、食品は加熱して食べる、手洗いを励行するなど感染予防を心がけましょう。

- ノロウイルス感染症とその対応・予防（厚生労働省）
- ・[家庭等一般の方々へ](#)
- ・[医療従事者・施設スタッフ用](#)

